

KEWPIE GROUP COMMUNICATION BOOK

# キューピーグループ コミュニケーションブック

2020



キューピー株式会社

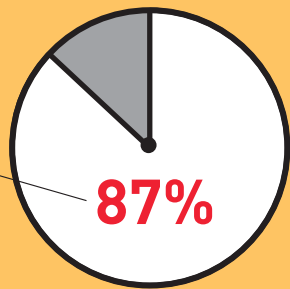


“キューピー”って会社、  
知ってる

?

「はい！」

「マヨネーズの会社ですね」



他には?

「うーん……」



「おいしさ、やさしさ」そして  
キューピーグループならではの「ユニークさ」に磨きをかけ、  
世界の食と健康に貢献するグループをめざします。

## “キューピーグループ”6つの事業

人が生きていく上で欠かすことのできない食の分野を受け持つ企業として、2019年に創業100周年を迎えました。今では「創意工夫」を重ねながら私たちが心から打ち込むことのできる事業、キューピーの得意分野とも言えるべき6つの事業が広がっています。

今後もグループの理念を大切に共有し、創業以来受け継いできた品質第一主義を貫くとともに“キューピーグループならではの”こだわりある商品とサービスをお届けしていきます。

### 調理・調味料事業



マヨネーズ・ドレッシング、調理食品で赤ちゃんからご高齢の方までおいしさを提供

### サラダ・惣菜事業



おいしくて便利なサラダや惣菜を届けたい。健康で楽しい食生活を支えるパートナー

### タマゴ事業



タマゴのリーディングカンパニーとして卵の魅力を発信し、健康寿命延伸に貢献

### フルーツ ソリューション事業



「ジャム」のリーダーとしての加工技術でフルーツの世界を広げる

### ファインケミカル事業



卵の有効活用から生まれた技術で世界の健康と医療に貢献

### 物流事業



食品物流の先駆者として物流の世界をリード

“キューピーグループ”  
のこと  
もっと知りたいときは

CSRサイト



各種報告書



# 持続可能な社会を次の世代に つなぐために

世界で決めた目標、SDGs(エス ディー ジーズ)。これらの実現に向かって、  
キューピーグループも、行動しています。



「食を通じて社会に貢献したい」  
キューピー創始者の  
この想いは、SDGsに通じるもの

1925年、キューピーは日本で初めてマヨネーズを製造・販売しました。この栄養価の高い卵黄タイプのマヨネーズには、日本人の体格向上や食生活の充実など、創始者・中島董一郎の熱い想いが込められていました。

世界を良くする目標として、2015年に国連で決められたSDGsよりはるか90年も前から、キューピーは「食を通じて社会に貢献」ということを実践していたのです。以来、創始者の想いを大切に、生活スタイルや環境、食への意識が変化していく中で、食卓にいつも新しい提案をしてきました。

高度成長期の1958年に日本初のドレッシングを発売するなど、時代に応じた野菜の新しい楽しみ方を発信し続けてきました。今では、サラダとタマゴのリーディングカンパニーとして、幅広い年代の健康に貢献しています。

6つの事業で構成されるキューピーグループは、食を担う事業活動にとどまらず、社会や地球環境への貢献に向けたさまざまな活動を行ってきました。創業101年目に入った今、2030年の世界の目標達成を通過点とし、次の100年に向けて、創業時の想いを大切に、さらに新しい挑戦を続けてまいります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## エス ディー ジーズ SDGs って、なに？

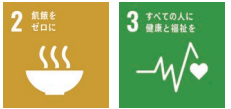
- 平和と地球の環境を守る17の目標です
- 2015年、国連に入っている全193カ国が賛成して決めました
- 国際社会共通の目標で、2030年までの達成をめざしています
- 国も企業も私たちが、行動することが求められています

### もくじ

P.5	サラダとタマゴで 健康的な食生活に貢献	2 健康を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を	
P.7	子どもの心と体の健康を支え、 未来の活躍を応援	1 貧困を なくそう	4 質の高い教育を みんなに	
P.9	資源の有効活用… すてない・いかす	2 健康を ゼロに	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも 守ろう
P.11	地球環境のために… へらす・かえる	13 気候変動に 具体的な対策を		
P.13	多様で多彩な従業員がいきいきと活躍 人も会社も成長するグループに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も	



# サラダとタマゴで健康的な食生活に貢献



日本はかなりのスピードで高齢化が進み「超高齢社会」になりました。いつまでも健康的な生活を送るためには、若い時からの食生活はもちろんのこと大切な3つの要素として「栄養」「運動」「社会参加」があるとされています。キューピーグループは中でも、とくに「栄養」に関して食生活の提案をしています。「一人ひとりの食のパートナー」となることをめざしさまざまな取り組みを通じてサラダとタマゴの魅力を伝え、一生を通じた豊かで健康的な食生活をサポートしていきます。

## Q 「もっと野菜を」と言い続けているワケ、知っていますか？

- 若い人に不足がちな野菜摂取量。健康維持のため、1日350gで栄養バランスの良い食事を心がけましょう。
- 野菜は噛み応えのある食材。しっかり噛み、口の健康を維持することは健康であり続けるためにとても大切です。子どもの頃からよく噛む習慣を身につけて！
- 中年期の生活習慣改善には、塩分を控え、カリウム・ビタミンC・食物繊維が含まれた野菜を積極的に摂ることが必要です。



## Q 「卵は世代を問わず健康の味方」って、知っていますか？

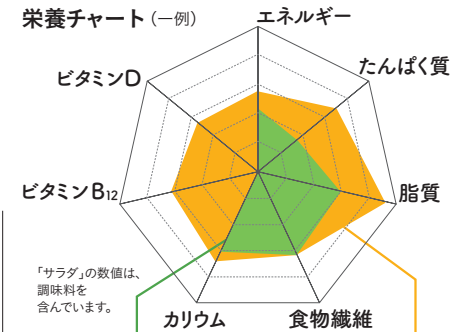
- 卵には体づくりに必要な栄養素が詰まっています。とくに、卵のたんぱく質は体内で効率よく利用される良質なたんぱく源。成長期から高齢期まで卵は毎日食べたい、ずっと食べたい栄養素の宝庫なのです！
- 卵のコレステロールは気にしないで良い！健康な人では、卵を食べても血中コレステロール濃度への影響はありません。
- 卵はおいしくて手軽な食材。いろいろな料理に使えるため毎日、飽きずに無理なく摂れます。

医師・栄養士より栄養指導を受けている方はその指示に従ってください。

## サラダと卵は最強コンビ！ 「卵を加えるだけ」で 栄養バランスがアップ！

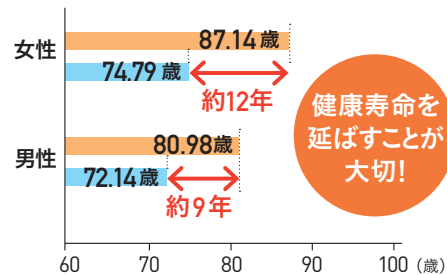


とっておきレシピ



文部科学省「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」より厚生労働省「日本人の食事摂取基準2015年版（70歳以上、女性）」より1食分=1日分の1/3として計算

## 元気で長生きしたい！でも、10年の差が

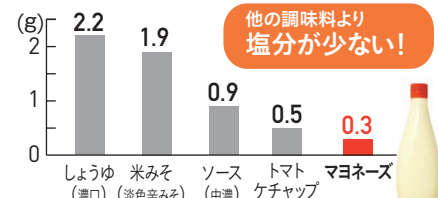


内閣府「平成30年版高齢社会白書」より（データは平成28年）

## うま味とコクのマヨネーズ、実は低塩！

- おいしく“適塩”に役立つ
- 脂溶性栄養素との相性が良い

15g(大さじ1杯)あたりの塩分量



文部科学省「日本食品標準成分表2015年版（七訂） 追補2018年」より計算

## ●たまごスター

社内認定制度「たまごスター」を2019年度よりスタート。グループ全体で卵を語る人を増やして「タマゴのリーディングカンパニー」をめざしています。三ツ星タマリエ検定取得（日本卵業協会）に加え、卵の知識を正しく伝えるための勉強会に参加することで認定されます。今後は社内外問わず、卵の魅力を伝える認知啓発活動を担っていく予定です。



たまごスター 255人  
(2020年3月末時点)





# 子どもの心と体の健康を支え、未来の活躍を応援



「食」には体をつくる、体の調子を整えるなど、栄養機能面だけではなく健全な心を育むすばらしい力があります。人が集う食卓は、体の健康も豊かな心も養い育ててくれる大切な場所。いろいろな活動を通じて食べることの大切さや楽しさを伝えることで子どもたちの生きる力、考える力を支援しています。



マヨネーズ教室

全国の小学生を対象に2002年から実施の出前授業「マヨスター」と一緒に楽しく体験

食の大切さと楽しさを伝えることを目的に「マヨスター」が全国の小学校を訪れます。マヨネーズのひみつや野菜を摂ることの大切さについて学んだ後、実際にマヨネーズの手づくり体験をします。

## ●マヨスター

社内認定制度「マヨスター」が始まったのは、2013年。マヨスターの資格を取得したキューピーグループの従業員が教室の運営から講師までを務めます。



マヨスター 259人 (2020年3月末時点)

参加児童数 累計 10万人を達成! (2019年10月17日)

## オープンキッチン (工場見学)

子どもにも大人にも大人気! 年間約7万人もの見学者製造の様子が間近に見られます



キューピーでは「工場は家庭の台所の延長」と考え、工場見学のことを「オープンキッチン」と呼んでいます。食品業界では生産現場を公開することが珍しかった1961年、小学生の社会科見学がきっかけでスタート。食と野菜についても学べます。

オープンキッチン



## マヨテラス (見学施設)

マヨネーズから学ぶ食についての体験型施設 さまざまな食育イベントも開催!



2014年にオープンしたマヨテラスは、キューピー マヨネーズにまつわるさまざまな情報やトピックを体感しながら楽しく学べる見学施設です。マヨネーズの歴史、おいしさのひみつと楽しみ方、ものづくりへの想いと工夫などを学んだ後は、キッチンでオリジナルのマヨネーズソースづくりをします。



## 子育てに家族に大好評!

赤ちゃんや幼児を対象とした体験コースもあり、子育てが楽しくなるように応援しています。

マヨテラス



## 海外での食育活動

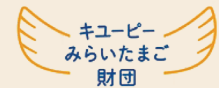
中国、東南アジアで地域に根づいた活動を

国内だけではなく、海外のグループ各社でも、その地域の「食と健康」に貢献することをめざし、野菜の摂取向上のため、さまざまな食育活動を展開しています。



## 小学生向け 野菜サンドイッチ教室

野菜摂取を通じて肥満児童を減らす活動 (マレーシア)



累計助成団体数 186団体 (2017年度～2020年度)

## 「食」を通した貢献活動 キューピーみらいたまご財団

想いを共有しうる団体の活動を広く支援することで、一企業だけでは成し得ない社会貢献につなげていきたいという想いから、2017年にキューピーが設立した財団。助成対象は食育活動および食を通した居場所づくりに取り組む団体です。この活動が内閣府から認められ、2019年4月に公益財団法人になりました。

## 「子ども食堂」を応援!

2019年度に新設された「スタートアップ助成金」では、子ども食堂などの立ち上げや設備購入から活動定着までの支援を行っています。また、全国から子ども食堂の関係者が集まる「居場所づくりサミット」を年2回開催し、多くの人に情報を届けるとともに、運営の課題や悩みを共有するなど、横のつながりも支援しています。

キューピーみらいたまご財団





# 資源の有効活用…すてない・いかす



捨てるしかなかった卵の殻を土壌改良材にして農家に販売したのが1956年。これが「もったいないをカタチにしていこう」、キューピーグループの「資源をいかす」の始まりでした。

## 卵には捨てるどころがありません！

日本の卵の約10%を扱うキューピーグループだからこその有効活用。

年間約2万8千トン

### 卵殻

- 土壌改良材 (肥料)
- 食品原料 (カルシウム強化剤)

### 卵の殻は米を強くし、ヒトの骨も強くする！

水田に卵殻粉を肥料としてまくと米の品位が向上し、さらに、猛暑などの天候不順による影響を抑え収量が維持できることを証明しました。(キューピーと東京農工大学の共同研究/特許出願中)

また、卵殻カルシウムがヒトの骨量を増加させることから、ベトナムでは卵殻を活用した栄養強化食品で子どもの体格向上と高齢者の骨粗しょう症の課題解決に取り組んでいます。

### 卵殻膜

- 化粧品原料 (美白作用・肌のハリ改善)
- 食品原料 (うま味増加作用)

### 卵白

- スポンジケーキ、マッシュマロ等 (起泡性…ふわふわ食感に)
- かまぼこ、ハム等 (熱凝固性…弾力をもたせる)

### 卵黄

- マヨネーズ (乳化性…酢と油が混ざり合い、なめらかに)
- カステラ、クリーム類等 (色調…食欲をそそる鮮やかな黄色に)

グリーン文字 = 主な使用商品例

キューピーグループが扱う卵は

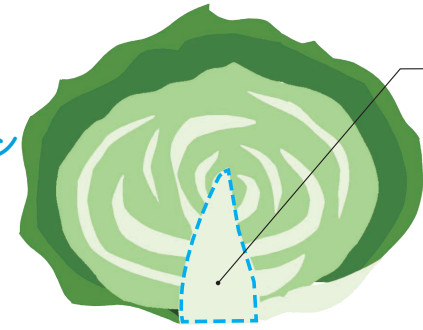
1年で約 **25万トン**

日本の年間生産量の約**10%**!  
数にしたら約**42億個**!  
つなげたら **25万km!**  
地球 **6周分!**

## 野菜の未利用部も有効活用！

野菜を使ったサラダ・惣菜を供給しているキューピーグループでは野菜の再資源化についても、さまざまな取り組みを行っています。

キューピーグループのキャベツの使用量は日本一!  
1年で約 **3万4千トン**  
1日に約**95トン!**  
数にしたら約**6万5千玉!**



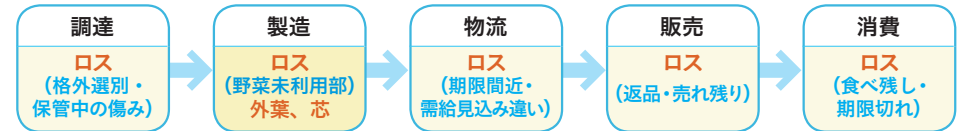
**芯** ← 全体の約10%

甘くて、おいしい。食物繊維は葉の約1.5倍! 食べずに捨てたらもったいない。

キャベツの芯をかくこく使いこなす



### 調達から消費までの過程で「食品ロス」が発生



三方よし!

- 酪農家: 安価・安定な飼料
- 国: 飼料自給率のアップ
- 地球環境: 廃棄物の削減

(平成30年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰「内閣総理大臣賞」受賞)

**野菜の未利用部を乳牛用の飼料に!**

カット野菜の製造工程で発生するキャベツ・レタスの未利用部(外葉や芯など)の乳牛用飼料化に成功し、「ベジレージ®」という商品名で酪農家に販売しています。国産の野菜を使った飼料は安全・安心な上に、乳牛が好んで良く食べ、乳量も増加することが証明されています。

**「野菜廃棄物ゼロ」を達成!**

株式会社サラダクラブの遠州工場(静岡県)では、野菜の未利用部の完全飼料化・肥料化に成功。酪農家と契約農家に売却し、有効活用しています。2021年までに全直営7工場の野菜廃棄物ゼロ化をめざします。

## 容器包装に「再生プラスチック」を採用し、環境に配慮



「キューピードレッシング スティックタイプ」の外装に、再生プラスチック\*を約15%使用しています。これによって石油由来の原料やCO<sub>2</sub>の排出量を削減することができます。



\*再生プラスチック: 使用済みPETボトルを高品質に再生したプラスチック

## 「食品ロス削減」に貢献

### フードバンク活動を支援

フードバンク活動\*を行う「認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン」を2007年から支援し、マヨネーズやドレッシング、ジャムなどを寄贈しています。2019年度は、キューピーグループから各地域の8つのフードバンク団体に寄贈しました。

### さまざまな商品の賞味期間延長

キューピーグループでは、商品の製法や容器包装を改良することで賞味期間の延長をして、食品ロスの削減に取り組んでいます。

\*フードバンク活動: 食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、児童養護施設などの福祉施設や生活困窮者へ無償で提供する活動





# 地球環境のために…へらす・かえる

地球温暖化、大気汚染、土や水の汚染にゴミ問題…。

地球環境を守るために、一人ひとりが身近に考え

この課題に取り組みなければなりません。

キューピーグループでは、多くの資源を活用して

人々の暮らしを支えるさまざまな商品やサービスを提供しています。

限られた資源を大切に使い、原料の調達、製造からお客様の使用にいたるまで、

そこに関わる人々と協力し、環境負荷の低減に努めています。

## 地球環境にやさしい輸送を

### 「モーダルシフト」による輸送

500kmを超える長距離輸送には、トラックから環境負荷が少ない船や鉄道を利用する「モーダルシフト」を推進。環境にやさしい企業として、2019年「エコレールマーク」の認定を受けました。



船のCO<sub>2</sub>の排出量  
トラックの1/6

鉄道のCO<sub>2</sub>の排出量  
トラックの1/11

### 異業種3社が手を組んで輸送

2018年から異業種3社が共同で、トレーラーを共用した船での定期輸送を開始。この取り組みにより、車両の有効活用、ドライバーの労働環境を改善、CO<sub>2</sub>排出量の低減に大きな効果をあげています。平成30年度グリーン物流パートナーシップ会議「国土交通大臣表彰」を受賞しました。

- 省エネルギーの推進
- CO<sub>2</sub>排出量の削減
- 原料・資材の梱包形態の見直し
- 環境に配慮した原料の調達
- 節水による取水量の削減

- 省エネルギーの推進
- 再生可能エネルギーの活用
- CO<sub>2</sub>排出量の削減
- プラスチックの削減
- 廃棄物の削減と再資源化の推進
- 水資源の効率の活用

●輸送の効率化



# 多様で多彩な従業員がいきいきと活躍 人も会社も成長するグループに



「サラダとタマゴで世界の食と健康に貢献する」  
グループが掲げる目標の実現に向け、一人ひとりが強みを伸ばし、  
持てる力を発揮していく。これがキューピーグループのダイバーシティです。  
すべての従業員が活躍できるよう、働きやすさや能力の向上をサポートし、  
人と会社が成長し、社会に貢献できる企業をめざしています。

## グループ従業員一人ひとりの 能力の発揮に向けて

従業員が自身の個性や強みを理解し、自分らしさをいかして働くためのダイバーシティセミナーを積極的に開催しています。例えば「アンコンシャス・バイアスセミナー」は無意識の偏見に気づき、従業員同士が互いを認め合い、成長を支え合える環境づくりをめざすセミナーです。

また、女性がより働きやすく能力を発揮できるよう、家庭と仕事の両立に配慮した働き方や支援制度を導入し、男性の育児休暇も推奨しています。グループの女性管理職の勉強会や個別の活動などを通じたネットワークづくりも進んでいます。

## 働き方改革で実現する 生産性向上とワークライフバランス

働きやすさは生産性の向上につながります。制度の充実や環境の整備を行って、フレックスタイムやテレワークなど、時間と場所にとらわれない働き方を推進し、個々の最適なワークライフバランスの実現を支援しています。



テレワーク：  
勤務場所や時間にとらわれず柔軟に働く従業員



テレ会議：  
離れた場所でもリアルタイムでのコミュニケーションが可能

## 健康はグループ従業員から 運動の習慣化に向けた イベントなども実施

グループで働く従業員の健康維持・増進のための取り組みを継続した結果、キューピーは3年連続「健康経営優良法人2020(ホワイト500)」の認定を受けました。「私の健康宣言」はグループ従業員1万人以上が参加しています。



私の健康宣言：  
思い通りに健康への  
取り組み目標をだるまカードに



健康イベント：  
運動習慣を始めるために  
実施された「スクワット講座」

## 「こうしたい!」という想いを実現できる “Kewpie Startup Program”

新たな挑戦を生み出す風土づくりを積極的に行い、従業員のアイデア実現と新規事業の創出をめざす社内公募制度「Kewpie Startup Program」を設けています。従業員考案の新規ビジネスである「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」の開業を2022年に予定しています。



野菜の魅力を体験できる複合型施設  
「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」(イメージ)

## 障害者が生きがいを 実感できる職場で個々の力を発揮

障害のある従業員が十分に力を発揮し、働く喜びを実感できる職場環境づくりを推進しています。グループ各地の工場における積極的な障害者雇用をはじめとして、株式会社キューピーあい(特例子会社)では、従業員が個々の得意分野で力を発揮できるよう、多岐にわたる業務を展開しています。



キューピーあい 渡辺譲二：  
T20(知的障害)陸上男子400mで銅メダル獲得  
('Beijing 2019 World Para Athletics Grand Prix'  
2019年5月中国・北京開催)

## CSRブログ

キューピーグループの従業員が  
社会や環境について  
想いとともに取り組みを紹介しています。



この「コミュニケーションブック」の  
ご意見、ご感想をお聞かせください。



ここから  
アクセスしてね!





愛は食卓にある。

kewpie 